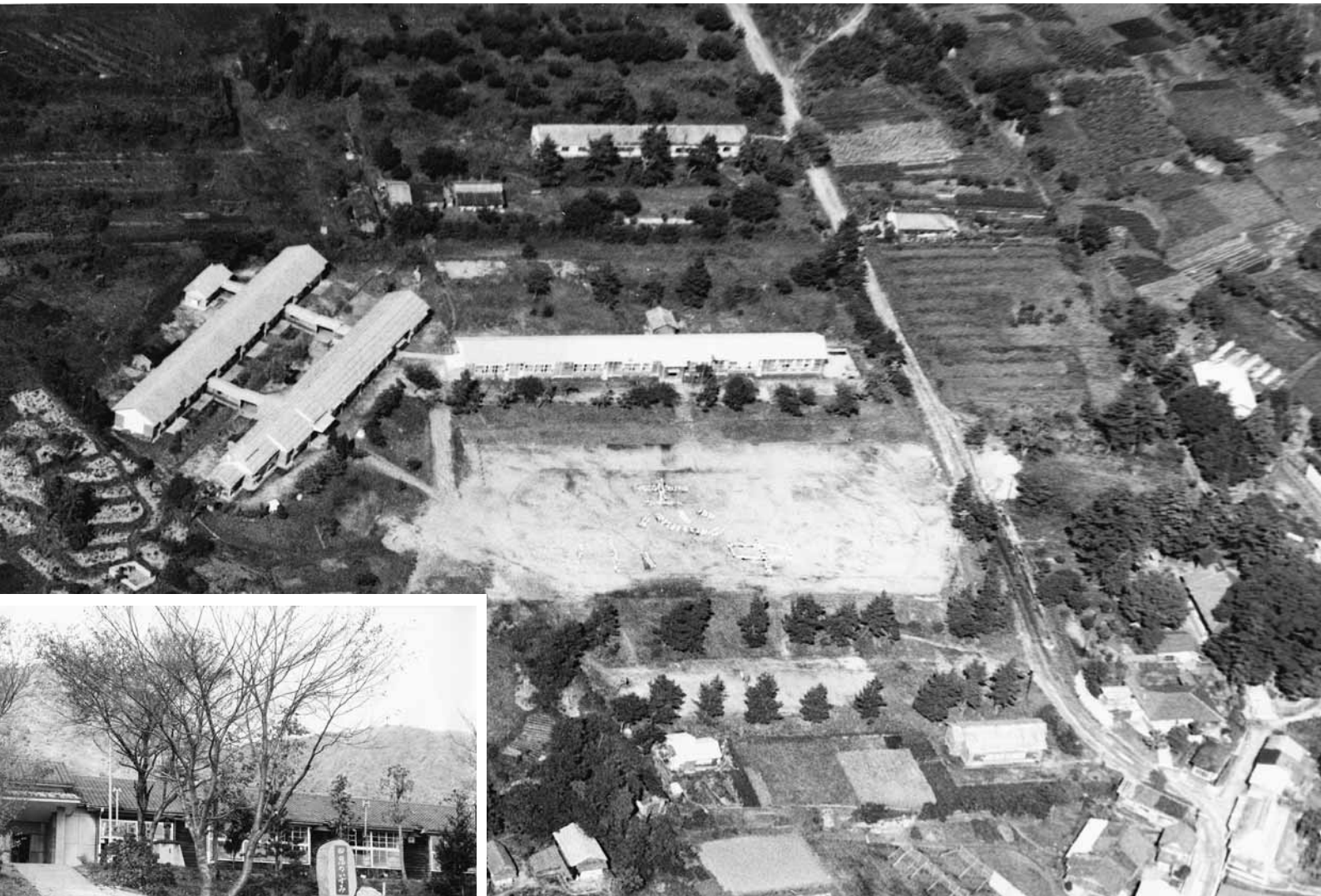


どがなかな 大田市です

大田市ふるさと情報誌

VOL.9

2008.6



◀ 昭和51年当時

▶ 昭和39年当時

Contents

- 2-3P おおだのこんな暮らし方
- 4-5P 仁摩町若者稲作グループの挑戦
“美味しい”を届けます
- 6-7P おおだブランド
- 8P 看護の現場から…
- 9P シリーズ新石見銀山⑨
ちょんぼし語録④
- 10-11P おおだ情報BOX
- 12P ふるさとは今／学校紹介



志学小校歌

三島武雄詩
龍末義範曲

一 緑は萌ゆる向う山
映して清し早水川
はるばる広き高台に
鶯をびやわわが母校
集めてわれらここにまた
学びの道にいそしまん
ああ明朗の志学の健児
二 高根の屋根がその中に
一きわ高し三瓶山
高嶺の花を求めゆく
望み輝くわが母校
集めてわれらここにまた
学びの道にいそしまん
ああ真心の志学の健児
三 歴史はめぐり春秋の
温泉尽せぬそれのごと
郷土を興す足並た
朝日さしそらわが母校
集めてわれらここにまた
学びの道に尽くまなん
ああ躍進の志学の健児

おおだの こんな暮らし方



いきなり定住するのはちよつと…という方。
こんな「おおだ暮らし」はいかがですか？

広島と三瓶の2つの地域を行き来しながら暮している持原興治さん。月2回、1週間程度と三瓶町志学で過ごし、四季折々の三瓶の自然と満喫しながら、田舎暮らしを楽しんでおられる持原さんをお訪ねしました。

出会い

欧米人のライフスタイルに憧れ、若い頃から素敵な60歳「ゴールドデン・シックステイ」を迎えるため、退職後に生活する場所を探していました。

そんな時、たまたま仕事の関係で昭和63年に三瓶を訪れる機会があり、雄大な自然や温泉などの素晴らしい環境を知り、そして何より三瓶の良さを語ってくれる地元の鈴垣

英晃さんと出会い、しだいに三瓶の魅力に魅せられました。少し早い気もしましたが、翌年の平成元年、三瓶町志学にセカンドハウスの土地を購入しました。

それから何度も三瓶を訪れ、四季折々の三瓶を感じ、気候などの地域特性を把握し、「こんな家を作りたい」と自ら模型を作成したのが退職の1年前のこと。そして平成14年10月に建物が完成しました。



もち ほん こう じ
持原興治さん

昭和17年生まれ。広島県安芸郡府中町で母、妻との3人暮らし。平成14年7月にマツダ株式会社マーケティング部を退職し、同年10月から三瓶町志学に建てたセカンドハウスでの暮らしを始める。

※ 二地域居住

三瓶では妻と一緒に畑で農作物を作ったり、近くの温泉へ行ったり、ゴルフやスキーなどの趣味を楽しんだりして過ごしています。そして祭りなど地域のイベントがあれば積極的に参加し、地域とのつながりを大切にしています。

また三瓶で採れた山菜や自ら栽培した野菜を広島のご近所にお裾分けしたりして喜ばれています。

広島と三瓶、どちらも『住む』だけでなく、地域の人たちとの交流を楽しむことで、より充実した生活を送ることができています。

97歳の母も三瓶の自然を親しみ「ここに来ると元気になる」と大変気に入っています。

これからセカンドハウスを考える人へ

2つの地域での生活の良さは、それぞれの良さがわかることです。セカンドハウスがあるから、本拠地の良さがわかり、本拠地があるからセカンドハウスの良さがわかります。三瓶の生活では、私が今までどこで何をしていたのかなどはあまり関係がなく、昔のしがらみがないので、白紙の状態でお互い接することができます。広島だと仕事関係

の話や昔の話になることが多く、それはそれで良いのですが、こちらでの生活で気持ちがいいフレッシュユされて広島での生活を送ることができません。今までの生活を全部投げ捨てて定住するには抵抗がありますが、二地域居住を送ることで、しがらみのある生活も悪くないと思えるようになり、両方の良さを認識できるのでお勧めです。

移住する最低5年くらい前に土地を取得し、行き来しながら、時間をかけて気候などの地域特性を知り、どういった家にするのか考えるとよいと思います。また、地元の人と交流しておく、いざ生活を

始めたときにスムーズに地域に入ることができません。

自分の殻に閉じこもっていると相手も警戒します。思い切って地域に溶け込むように飛び込んでいくと、地域の人は温かく迎え入れてくれます。そして地域を満喫することができます。

地域へのお返し

長年、企業のマーケティング部で広告宣伝などの仕事をしていたことを活かして、現在、志学小学校で総合学習のお手伝いをしています。三瓶のすばらしさを伝えようと地元の子どもたちが三瓶の魅力につ

いて調べているのを知り、『コミュニケーション』をテーマに、かつての仕事仲間と呼びかけ、三瓶を紹介するポスターやCMの作成を子どもたちで行いました。

自分が得意としていたものが地元の人たちのお役に立つことができ自分も幸せです。

一生この生活を続けたい

こちらの人は、みんな正直です。だから自分も正直でいることができます。自分に正直であるとは、自分らしく生活できるということ。歳をとって車の運転が自分でできなくなっても、タクシーを使っても広島と三瓶を行き来するこの生活を続け、死ぬまで自分らしく「ゴールデン」な人生を送りたいと思っています。



セカンドハウスを建築するため、自ら作成した模型。冬の寒さなど土地のことをよく知る地元建築業者の方とめぐり合い、この模型を基に、希望どおりのセカンドハウスが完成。現在では、その方と山菜採りなど三瓶の自然を楽しんでいる。



「鈴垣英晃さん（左）とは同い年なので価値観が同じで良かった。今では竹馬の友のような関係。鈴垣さんのような地域のキーマンと親しくなれたので私はラッキーだった。」と持原さん。

※二地域居住・・・

都市住民が、本人や家族のニーズ等に応じて、多様なライフスタイルを実現するための手段の一つとして、農山漁村等の同一地域に置いて、中長期（1～3ヶ月程度）、定期的・反復的に滞在すること等により、当該地域社会と一定の関係を持ちつつ、都市の住居に加えた生活拠点を持つこと。

持原さんは2つの地域で2倍楽しい暮らしをされています。大田市では、定住を希望される方へ、空き家の情報提供を行っています。空き家などを利用した「おおだ暮らし」を考えてみませんか。

いま自分たちにもできることを…

〜仁摩町若者稲作グループの挑戦〜

年々、水稲生産者が減少し休耕田が増える中、5年前から米づくりに挑戦している若者グループがいます。『ひとりではなかなかできないことも仲間が一緒ならできる。今の自分たちができることは何か』そんな思いから動き出した若者たちを紹介します。

平成15年、仁摩町の原田勲さんを中心に仲の良かった同級生の3人で、「田んぼを荒地にしてあそばせておくのはもったいない。自分たちで米をつくってみよう。農業をやってみよう」という熱い思いから米づくりに挑戦し始めました。今は原田さん、仁摩町の林真さん、大田町の宮原勝さん、森川真博さんの4人で活動しています。

現在、4人とも平日は仕事で忙しいですが、その合間の夕方・夜や休日を利用して米づくりに精を出しています。

水稲生産者がだんだんと減ってきている中で、最初の年は作付面積が25㍏くら

いでしたが、1年で倍になり今では約2・4畝にまで広がりました。5年の間に作付面積が約10倍になり、当初の「もつと作付面積を広げたい」という目標を見事達成することができました。これも、「原田さんの祖父千代徳さんや周辺で稲作をしている方が親切にアドバイスをしてくれ、サポートしてくれるからこそできている」と原田さんは話します。



原田千代徳さん

最近、米づくりに興味のある知人の女性たちが出雲市から参加し、一緒になって田植えや稲刈りをしています。きっかけは、原田さんたちが米づくりをしている話をしたところ、以前から稲作経験があり、米づくりに興味があった女性たちと話が盛り上がり、田植えや稲刈りの時期に合わせて都合をつけて米づくりに参加することになったようです。

女性たちも、乗用田植機を運転したり、苗を運んだり、積極的に米づくりに取り組んでいます。「初めは田植機の運転が難しかったんですけど、やり始めると楽しくて楽しくて。自分たちが関わってできたお米だと思えば、食べたとき、やっぱりおいしさが違いますね！」と秋の収穫を心待ちにしています。

収穫の際には、先に少し刈っておいた米を炊き、できたてホクホクのごはんにあつアツのカレーをかけ、参加者全員でカレーライス

をいただき、労をねぎらいます。来年もまた頑張ろうと…。

また、ウルチ米の他にモチ米も作っています。年末

には収穫したモチ米を使い、家族や知り合いの方を集め餅つきをします。普段は目にするこのない石臼と杵ウスを使っての「餅つき」に子



<左から> 原田 勲さん(30歳) 宮原 勝さん(31歳) 林 真さん(30歳)

子どもたちは大喜び。数ヶ月かけて作られたモチ米が、蒸す・つく・こねるの工程を経てお餅ができるということを知りながら、正月のお雑煮をおいしくいただきます。

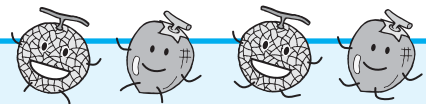
今年で6年目となり、今までの米づくりを振り返りながら、今後について尋ねると、「以前に比べると作付面積が広がって、4人で作業をするのはしんどいと思うこともあるし、正直、田植えの春から稲刈りの秋にかけては休みもない。けど、やっぱり好きだからやっていて楽しいし、安心して食べることができるものをつくりたいなと思つています。



餅つき風景

たいなと思つています。メンバーそれぞれの思いは違つているけど、今後も人が作っていないものを、やっていきたいことをやっていきたいですね。失敗もするとは思いますが」と笑顔で語り、原田さんたちの挑戦はこれからも続いていきます。

秋（9月上旬〜10月中旬頃）には稲刈りを行いますので、興味がある方は仁万田台へ気軽に足を運んでみてください。



“美味しい”をお届けます

～温泉津町特産物促進協議会～

私たち温泉津町特産物促進協議会は、特産品の振興を図るため、平成7年に温泉津町西条柿生産組合と温泉津町施設園芸組合によって立ち上げました。

立ち上げてすぐの平成7年から、7月にアムスメロン、10月には西条柿の試食宣伝活動を、生産者自ら山口県周南市などで行っています。昨年度は、4日間延べ8ヶ所の百貨店などで試食宣伝活動を行いました。

会場では、食味などのアンケートを実施しています。このアンケートにご協力いただいた方へ、次回試食宣伝開催の案内はがきを送付し、はがきを持参された方に、温泉津町産の農作物を粗品として渡しています。

私たちは、会場で消費者の方から直接いただいた意見やアンケートを参考に、栽培方法の研究をし、さらに美味しいアムスメロンと西条柿をみなさんにお届けできるよう頑張っています。

【問い合わせ】石見銀山農業協同組合温泉津支所 電話0855-65-2235



おおだの味を全国へ!

おおだブランドの募集をきっかけに、おおだの味が
大集合しました。懐かしいあの味・この味。大田市な
らではの新しい味も続々と誕生しています。

是非ふるさとの味をご賞味ください。

お気に入りが見つければ、あなたの大切なあの人へ
そっと教えてあげてくださいね。



おおだブランドとは

地域のイメージアップや
地場産品の流通拡大、地域
産業の活性化を目的に、大
田市で作られる製品を「お
おだブランド」として認証
する制度です。

その第一弾として、昨年
度は加工食品部門で募集し
たところ、31事業所のおお
だの味が集まりました。(左
ページの商品)

認証は、市民投票と白田
典子さん(有良品工房代表
取締役)を審査員長に迎え、
流通関係者や旅館の女将、
消費者団体など10人で構成
する審査会によって行いま
した。

①単に商品自体の味わいや
歴史のみにこだわらだけ
でない

②特に市外・県外に向けて
の販路拡大や市場開拓を
担う可能性が高い

③石見銀山遺跡などに来訪
する観光客のみなさんの
みやげ物として通用する
もの

等の視点から、10商品13事
業者が認定されました。
なお、市民投票には全国

から1、115通もの応募が
ありました。ご協力いただ
きました皆様、ありがとう
ございました。

認証された商品には、ブ
ランドマーク(右上)が貼
られています。店頭でこの
マークを見かけたら、ぜひ
手にとってみてください。
ふるさとの味をご家庭の食
卓に、大切なひとへの贈答
品にいかがですか?

左ページに「おおだの味
あれこれ」を紹介してい
ます。掲載している商品は、
各事業者の直営店や大田市
内のスーパーのほか、ロード
銀山、温泉津ふれあい館な
どでお買い求めいただけま
す。また、既にインターネ
ットで販売している商品も
ありますので、事業所HP
(左ページ参照)をご覧くだ
さい。

今後は、認証された10品
目をはじめとする大田市産
品が全国に広がるように強
力に発信していきます。
また、おおだブランド認
証制度を多彩な部門に広げ、
全国展開していきます。
今後のおおだブランドに
ご注目ください!!

お取り寄せ

7ページの商品について

ロード銀山・温泉津ふれあい館において、お取り寄せができる商品

(複数商品をまとめてご注文される場合便利です)

☆ロード銀山(久手町) 電話: 0854-82-1991 FAX: 0854-82-8684

①石見銀山の甘粥さん
(12月~3月限定)

②島根さんべ浮布米

④石見銀山ブルーベリージャム

⑤芋のコンフィチュール いも代官

⑥純米吟醸「石見銀山」

⑦ふぐ味酥干

⑧す巻き蒲鉾

⑭一日漁の甘鯛一夜干

⑮和江の光(すまき蒲鉾)

⑯石見銀山箱寿司

(6月~10月はお休み)

⑳石見銀山 天領米

㉑『和江』(スト蒲鉾)

㉒郷土史銘いも代官

㉓開春 西田

㉔めのはめし

㉕ゆのつ温泉せんべい

☆温泉津ふれあい館(温泉津町小浜) 電話: 0855-65-3151 FAX: 0855-65-3376

⑯甘鯛の一夜干

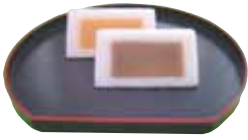
⑰開春西田

⑲めのはめし

㉖ゆのつ温泉せんべい

※商品に対する質問等は、各事業所へお問い合わせください。

25



三瓶銘菓 浮布
浮布本舗 さつだや
☎0854-82-0163

18



角 寿司
有限公司 デイリーフーズ誠
☎0854-82-9198

15



和江の光 (すまき蒲鉾)
上野屋蒲鉾店
☎0854-84-8121
http://www.e-sutokama.com/

8



和江漁協蒲鉾
J F 島根大田支所
☎0854-84-8011
http://www2.ocn.ne.jp/~waefu/

1



石見銀山の甘鯛さん
中木屋本店
☎0854-85-8501

26



甘鯛の一夜干
榎商店
☎0855-65-2305
http://www.kaji-shouten.shop-site.jp/

19



ごまどうふ
鮮魚 中田商店
☎0854-89-0618

27



開春 西田 (にした)
若林酒造 有限会社
☎0855-65-2007
http://www.kaishun.co.jp/top.htm

20



石見銀山 天領米
石見銀山農業協同組合
☎0854-82-1001
http://akahomoti.jp/index.html

9



無名院弁当
石見銀山郷土料理研究会
☎0854-82-7663

2



島根さんべ浮布米
ファーム浮布 株式会社
☎0854-83-2525

28



天領柿酢 柿の酢
有限会社 藤間要二郎本店
☎0854-88-2832

21



梅の華もろみ
有限会社 山陰食品センター
☎0854-82-2241
http://www.ohdacci.com/kigyou/saninsyokuhin/

10



石見銀山天領米
有限会社 内藤米穀店
☎0854-82-0335

3



だきずし(イワシ・アジ・レンコダイ)
有限会社 勝部商店
☎0854-87-0024

29



めのはめし
株式会社 渡辺水産食品
☎0854-82-8011
http://www.watanabe-ss.jp/

22



『和江』(スト蒲鉾)
松下蒲鉾店
☎0854-84-8003

11



す巻き蒲鉾
丈兵衛蒲鉾店
☎0854-84-8125

4



石見銀山ブルーベリージャム
観光農園 森山
☎0854-84-8000

30



三瓶そばまんじゅう
日高恵比須堂
☎0854-83-2430

23



石見銀山「げたのは」
有馬光栄堂
☎0854-89-0629

16



石見銀山 箱寿司
株式会社 大田ふるさとセンター
☎0854-82-1991
http://www6.ocn.ne.jp/~furusato/

13



石見銀山代官みそ
街道ショップ 中田
☎0854-89-0400

6



純米吟醸「石見銀山」
一宮酒造 有限会社
☎0854-82-0057
http://ichinomiya-s.jp/

31



ゆのつ温泉せんべい
平野花月堂
☎0855-65-2212

24



郷土史銘菓 いも代官
御菓子司 和香
☎0854-82-7471

17



いちごジャム
莓のきむら農園 いちご屋さん
☎0854-82-1676
http://kimura-farm.com/

14



一日漁の甘鯛一夜干
有限会社 岡富商店
☎0854-82-8102
http://www.rakuten.co.jp/okatom/

7



ふぐ味餅干
株式会社 和田珍味
☎0854-87-0030
http://wadachinni.co.jp/

ほっぺたが落ちこちる!
おおだの味あれこれ



「お医者さん、看護師さん 知いませんか？」

ご一報をお待ち
しています！

大田市立病院は、大田二次医療圏の拠点病院としてその機能の強化・充実に努めているところですが、近年、医師・看護師不足が深刻化し、救急医療・周産期医療など地域医療の確保が危ぶまれる状況にあります。

“ふるさと大田”で地域医療を担っていただける医師・看護師の方々を随時募集しておりますので、情報をお寄せいただきますようお願いいたします。

(詳しくは、大田市立病院ホームページをご覧ください。)

<http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp/>

「看護の現場から…」 大田市立病院 看護部長 岸本加智代

数ヶ月前までは「こんにちは、誰か看護師さん知ませんか？働きたい人をご存知ないですか？」と、日常のあいさつ言葉でした。しかし、その反応もむなしなもの、いつしか口にしないようになり、「このままではいけない、何とかしないと・・・」と焦燥感にかられるようになってきました。

大田市立病院には、現在160名の正規看護師が在職していますが、必要数からみると20名近くの減となっています。その要因は、平成18年度の診療報酬改正による7対1入院基本料の導入であり、そのために大きな病院が多くの看護師を募集するため、当院での確保が大変厳しくなったことによります。

看護師が少なくなることは、医療現場の最前線において患者さんの傍らで24時間働く看護師が不足することになります。

今、大田市立病院は看護師不足と医師不足により最大の危機に直面しています。

先般、看護部において満足度アンケートを行いました。回答で満足度の高かったのは、“学会、研修等への参加がしやすい”で、これは職員が望む“自己研鑽を支援する体制”が整っていることを示しています。反対に、満足度の低かったのは労働条件で、“休暇が取りにくい。給料・手当”など、多くの素直な意見が返ってきました。しかし、厳しいことばかりではなく、夜勤免除や育児休業が慣習的に取れない病院もある中、大田市立病院は夜勤免除や育児休業等がきちんと取れる病院で、言い換えれば母性保護に厚く働きやすい労働環境にあると言えます。

当院の看護師は、一人ひとりが看護の仕事に誇りとやりがいをしっかり持ち、地域の皆さまに安心と安全の医療を提供することを使命に日夜勤務しています。

今後は、看護師が当院で働き続けたい・働きたいと感じるよう、処遇の改善や院内保育所の設置などの対策を実施し、より多くの看護師の確保に努めるとともに、患者さんや医療スタッフに満足していただける看護を目指して努力していきたいと考えています。



【問い合わせ】 大田市立病院 事務部医療対策課 TEL 0854-82-0330 / FAX 0854-84-7749
メールアドレス ohda-net@ohda-hp.ohda.shimane.jp

発掘調査の現地説明会

3月2日、銀山本体の仙ノ山の東斜面にあたる本谷で開催された「発掘調査現地説明会（写真）」に参加しました。

現場は、本谷の中間点から南西方向に走る安原谷の入口。釜屋間歩の南西50㍍付近です。銀山最盛期に釜屋間歩を発見し稼行した山師（鉱山事業者）安原伝兵衛（のちに備中）にちなむ地名や霊所、墓所が残っているところです。

当日は残雪のなか市内外から約90人が参加。3つ掘った試掘坑（おのおの3.5㍍×2.5㍍、深さ20～100㍍）からは、比重の違いを利用して銀鉱石を選び出す水溜めの四角い穴や銀精錬したと見られる炉の跡、そして碗や皿などの陶磁器などが出土したと報告がありました。また、古文書などの資料と突き合わせた調査成果の説明がありました。

説明後の質疑応答は熱のこもったものでした。参加者から「その礎石から推定したら建物はどれくらいの大きさ？」、「そがだかな、ワシは〇〇〇と思うだかな」・・・、疑問や鋭い質問が飛び交い発掘担当者もタジタジ。

わたしはこういった光景が好きです。地域の歴史を学んだり、興味を持つ人と出会ったり、もしかすると未永い交流のきっかけになるかもしれないと想像するとうれしくなります。

さて、現在整備中の石見銀山世界遺産センター



安原谷の発掘調査は昨年から3年計画で実施。右の石階段の上には安原備中の霊所と伝えられる遺構がある（非公開）

では、石見銀山に関する展示を行います。そのひとつとして、この本谷地区の最盛期の復原模型を製作中です。担当者は、学術上の正確性を期すことはもちろんのこと、理解しやすい工夫や現地に足を運んで体感してもらおうきっかけづくりに腐心しながら作業を進めています。並行して、調査中の現場公開、調査研究成果の発表会、体験学習メニューの作成などソフト事業も検討中です。

世界遺産センターは今秋10月のフルオープンを予定しています。石見銀山や地域の歴史や文化に興味を持ち人の輪が広がる場所にもなるよう努めます。

ちゃんぽし語録④

ゴールデンウィーク中、石見銀山を訪れた観光客の数は8万8千人・・・

あっぱれな五月晴れだった5月4日、龍源寺間歩を約6,700人もの人が通り抜けました。

一番長い時で、約200㍍の列ができましたが、遊歩道では鮮やかな新緑のトンネルの下、多くの人が自然を満喫したようです。

うぐいすのさえぎり、木漏れ日、透きとおる冷たい川の水、感嘆の声がたくさん聞かれました。

～せっかくの良い天気だからと石見銀山見物に訪れた地元の夫婦の会話～

【用例】

夫 「やれの～！こが～にようけ並んで、間歩に入るのに30分待つだとな！」

妻 「なんだことだかいな～。だけえ私が言うたように、もほっと早よに家を出りゃあ良かっただに！」

夫 「そがなこと言うたてて、休みの日にそがにちばけて早よから動きとあないわいな」

妻 「・・・。」

夫 「そがにおぞい顔するだないが。はあ、いらくたてて順番が先になるでもなし。そこでたばこでもするかな？」

妻 「そがだねえ。せっかく来ただけえ、楽しんで帰りますかな♪」

【訳】

夫 「うわあ！こんなに多く並んで、間歩に入るのに30分待つらしいよ！」

妻 「なんてことでしょう。だから私が言ったように、もっと早く家を出れば良かったのに！」

夫 「そんなこと言っても、休みの日にそんなにあわてて早くから動きたくないよ」

妻 「・・・。」

夫 「そんなに怖い顔するなよ。もう、イライラしたって順番が先になるわけでもないし。そこで休憩でもするかい？」

妻 「そうですね。せっかく来たのだから、楽しんで帰りましょう♪」

みんな！ 待っとなるでな～

隆慶さん

期日 8月13日(水)
 会場 大田市駅前通り
 内容 オープニング 15時～(予定)
 ビンゴ大会 19時～(予定)
 [問] 大田駅前通り商店街振興組合
 電話:0854-82-0341(月森米穀店)



平成20年夏の企画展 「びっくり！どっきり！ 大化石展」

期間 7月4日(金)～9月28日(日)
 会場 三瓶自然館サヒメル
 恐竜の王者ティラノサウルスや日本初公開の最古の人類化石「オロリン」をはじめ、約200点の化石を一挙公開！
 あなたも化石の中に秘められた生き物たちの太古の記憶と地球の未来へのパスポートを探してみませんか？

[問] 島根県立三瓶自然館サヒメル
 電話：0854-86-0500
<http://nature-sanbe.jp/sahimel/>

秋の彼岸市「中日つあん」



期日 9月23日(火)・24日(水)
 会場 大田市駅前通り
 大田市民会館駐車場など
 400年以上の歴史をさかのぼる定期市に端を発するこの行事。
 大田駅前通りには、道の両側に露店が立ち並びます。
 [問] 大田商工会議所
 電話:0854-82-0765

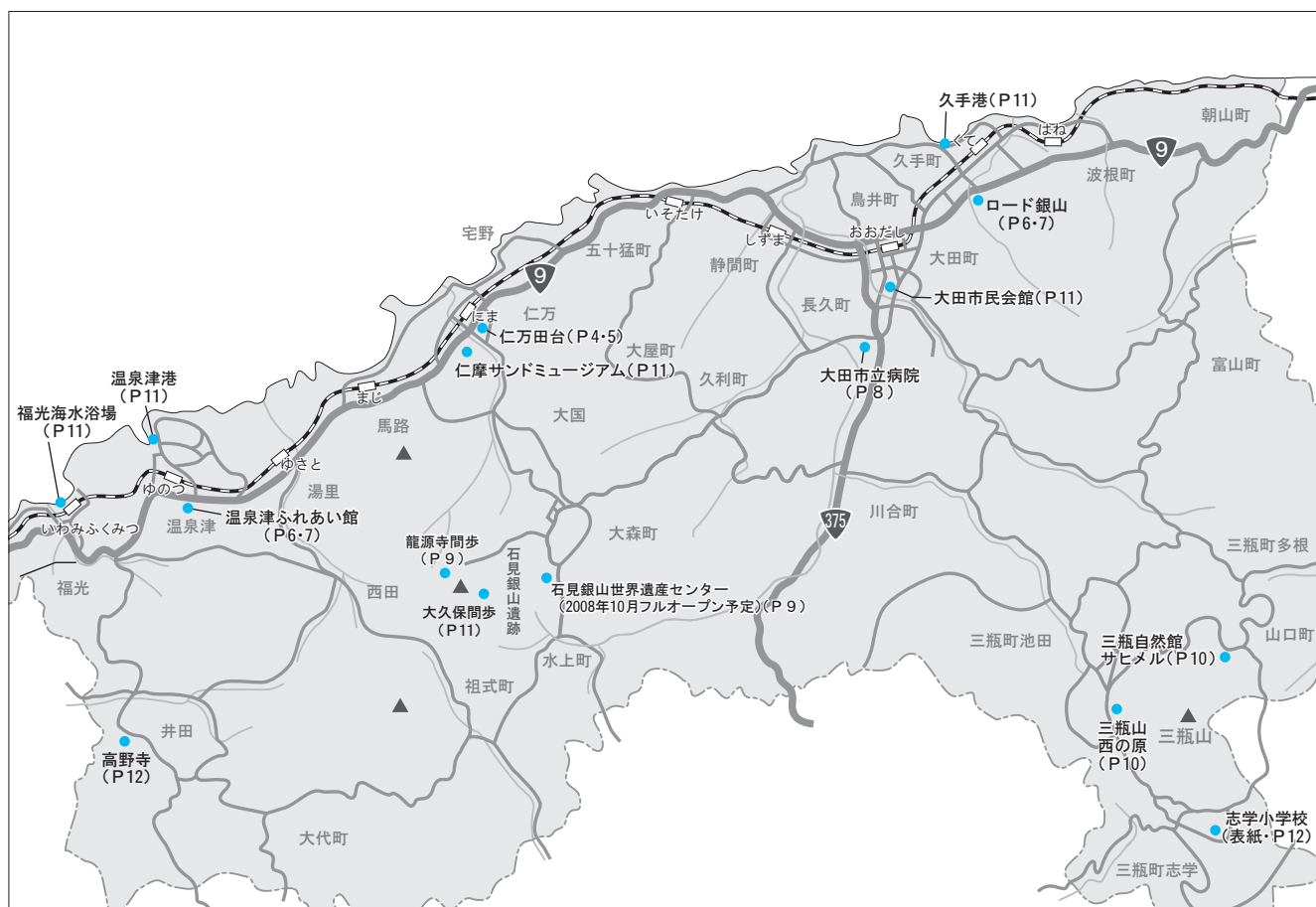
2008 三瓶高原クロスカントリー大会

参加者
募集中！

期日 8月24日(日) 雨天決行
 会場 国立公園三瓶山西の原
 三瓶高原クロスカントリーコース
 参加料等 ★クロスカントリー
 (2 km, 3 km, 5 km, 8 km)
 参加料 一般 : 3,000円
 高校生以下 : 1,000円
 ★ウォークラン (1 km, 2 km)
 無料



参加資格 小学4年生以上で健康な人。ただし、5 km, 8 kmへの出場は自己記録が5 kmは35分以内、8 kmは50分以内の方に限る。ウォークランは幼児以上(幼児は保護者同伴)で健康な人なら誰でも参加できます。
 申込締切日 平成20年7月18日(金)
 申込先 大田市教育委員会内三瓶高原クロスカントリー大会事務局
 電話:0854-82-1600 FAX:0854-82-5395
<http://www.iwamigin.jp/ohda/kankou/shokokan/sanbe/index.html>



おおだ情報BOX

にまごいせ祭

日時 7月19日(土)18時～(予定)
花火 20時半～(予定)
会場 仁摩サウンドミュージアム
[問] 銀の道商工会
経営支援センター(仁摩町内)
電話: 0854-88-2513



三社まつり

- ◆西行さん
日時 7月16日(水)夕方から
会場 西行堂(大田町雪見)
 - ◆天神さん
日時 7月25日(金)夕方から
会場 天神さん(大田町天神)
 - ◆荒神さん
日時 7月28日(月)夕方から
会場 荒神さん(大田町相生)
- [問] 大田商工会議所
電話: 0854-82-0765

天領さん

- ◆大田会場
日時 7月26日(土) 15時～
TENRYO ODORI21 17時～
天領正調おどり 18時～
メイン会場 大田市民会館
 - ◆大森会場
期日 8月2日(土)11時半～(予定)
献上行列 16時～(予定)
会場 大森町町並み
 - ◆久手会場
日時 8月4日(月)9時30分～(予定)
花火 20時～
会場 久手港
- [問] 天領さん実行委員会
電話: 0854-82-2511



温泉津温泉夏祭り

期日 8月9日(土) 17時頃～(予定)
花火 20時半～(予定)
会場 温泉津港周辺
[問] 銀の道商工会本所
電話: 0855-65-1110

海神楽

日時 8月16日(土) 17時～
会場 福光海水浴場
今年で4回目となる、京都造形芸術大学と温泉津舞子連中による神楽の共演。
日本海に沈む夕日やかがり火、打ち寄せる潮騒をバックに繰り広げられる舞は必見です。



大久保間歩一般公開ツアー開催中!!

世界遺産・石見銀山遺跡に、またひとつ新たな魅力が加わりました!

平成20年4月26日の開催を皮切りに、石見銀山最大級の間歩(坑道跡)である「大久保間歩(おおくぼまぶ)」の一般公開を行っています。

石見銀山遺跡には大小あわせて600ほどの銀採掘跡が遺されていますが、なかでもこの「大久保間歩」は、その高さ、拡がりいづれにおいても最大級の規模を誇る大坑道です。

このたびの一般公開開始にあたり坑道内の一部に安全柵を設け、象徴的な箇所には照明を設置していますが、そのほかほとんど手を加えておらず、本物の迫力と臨場感を味わうことができます。従来から公開している「龍源寺間歩(りゅうげんじまぶ)」とは異なる魅力を持つ坑道となっています。以前に「龍源寺間歩」をご覧になった方も、ぜひ一度公開ツアーにご参加ください。

今年度開催のツアーの概要等は次のとおりです。

- 開催日 平成20年11月30日までの金・土・日・祝日 及び
平成21年3月の金・土・日・祝日
- 開催時間 ①9:30出発 ②10:00出発 ③13:30出発 ④14:00出発
(1日4回開催。各回とも出発時間の30分前に集合)
- 料金 大人 3,800円 小中学生 2,800円(小学生未満の参加は不可)
【料金には入場料、ガイド代などが含まれます】
- 参加方法 完全予約制 締め切りはツアー開催日の5日前
- 予約・問い合わせ 大久保間歩予約センター 電話: 0854-84-0750

※そのほか詳細については、ホームページ(<http://www.iwami.or.jp/ginzan>)をご覧ください。



一般公開の様子

ふるさととは今



高野寺の梵鐘伝説

井尻の高野寺は、真言宗の古いお寺です。このお寺は今から1150年前、弘法大師がお建てになりました。ここにつくり方や紋様などからみて、朝鮮から伝わって来たのではないかと思われる大きな梵鐘があります。

今から400年ぐらい前（戦国時代）、この地方は尼子と毛利がはげしい戦いをくりかえしていましたが、ある夜のこと、このお寺へ一人の男が大きな荷物を背負って登って来ました。お坊さんが出てみると、晴れた夜なのにその男は全身、水にぬれているのです。

「私は、^{たにしゅうごう}谷住郷の七日^{*}淵にすむエンコウです。仏さまのお使いで、この梵鐘を持って参りました。何もいりません。水を下さい。」と言いました。

お坊さんが水を持ってくると、どうでしょう、その男は、頭から水をかぶって、「これで元気が出ました。梵鐘は、門のところにおきましたよ。」と言うと、姿をけしてしまいました。

つぎの日、梵鐘は6人の力の強い男で、やっと持ちあげることができました。

※谷住郷…現在の江津市桜江町 ※エンコウ…河童 【昭和45年 温泉津町教育委員会発行「温泉津町の伝説」より引用】
この梵鐘は県指定文化財です。

高野寺のつつじ

「西の高野山」ともいわれる高野寺は、温泉津町井田の小高い山の中にあります。境内にはツツジが3,000本近く植えられていて、例年4月下旬から白、紫、赤やピンクなどさまざまな色のツツジが咲き始めます。毎年5月5日に「つつじ祭り」が行われます。温泉津駅から車で15分。



県指定文化財の銅鐘

表紙 志学小学校



志学小学校は、昭和29年の市町村合併により、現在の大田市立志学小学校として現在地に校舎が建てられました。表紙の写真にある記念碑「四恩のいずみ」は昭和51年に開校100年を記念し建立されました。

現在の校舎は平成6年に竣工し、明るく開放的な校舎で、31名の児童が、のびのびと学校生活を送っています。校区は、大田市の南端で、飯南町と美郷町に接し、三瓶山の東南麓に位置し温泉と広大な牧野のある自然豊かな地域です。

子どもたちは、町探検で泉源を訪ねたり、公民館や明生会（高齢者グループ）との交流をして地域のあたたかさを感じ取っています。

また、冬には三瓶山でのスキー教室を行うなど、四季を通して豊かな自然の中で学んでいます。



発行 / 大田市役所総務部地域政策課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail:o-tiiki@iwamigin.jp <http://www.iwamigin.jp/ohda/>
定住サイト「おおだの未来検索サイト どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>